

株式会社 chromocenter

<http://www.chromocenter.com/>

所在地 本社:鳥取県米子市西町133-2 / 神戸研究所:兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 HI-DEC4F

TEL&FAX 本社:0859-37-3838 / 神戸研究所:078-599-9383 本社:0859-37-3833

代表者 代表取締役 松岡 隆之 **創立年月日** 2015年6月15日 **資本金** 6,785.5万円 **従業員数** 12人

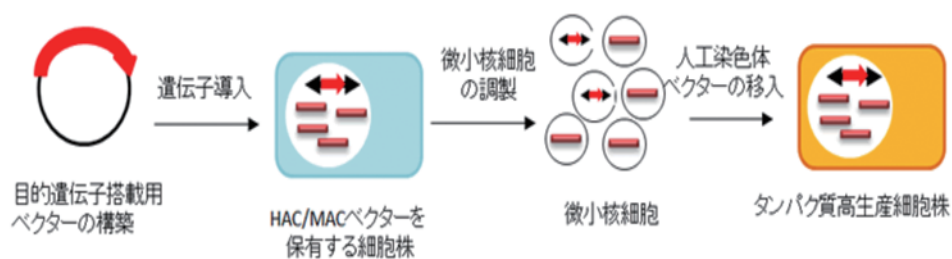
事業内容

人工染色体ベクターを基盤技術とし、製薬会社や大学等の研究者への安定遺伝子発現細胞株の作製及び染色体解析を行っているベンチャー企業である。

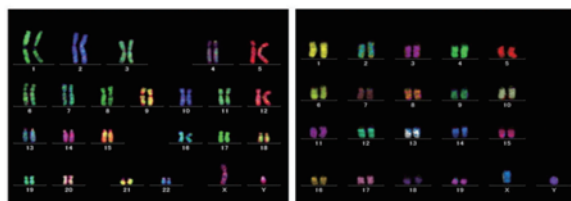
人工染色体ベクター技術を用いた細胞改良受託サービス

製薬会社等からのオーダーに対して染色体工学技術による、プロダクションサイエンス分野の研究開発と受託により、例えばタンパク質生産制御に係る遺伝子を細胞に搭載し、ボトルネックを解消することで細胞構築期間の短縮、生産量・品質の向上を実現する。

もともとは、安定遺伝子発現細胞株の作製に必須の染色体解析技術であったが、CHO細胞の染色体解析及び染色体解析によるiPS細胞のリスク評価の需要が増え、iPS細胞を研究する60%程度の研究機関から受託するという急成長を遂げている。



◆マルチカラー-FISH



ヒトiPS細胞のマルチカラー-FISH解析像

マウスiPS細胞のマルチカラー-FISH解析像

知的財産活用事例

大学と共同出願した知的財産は商用的には独占的使用権を得て事業を行っているが、現在も徳島大学、大阪大学、九州大学、広島大学他複数の大学、大手・中小企業と共同研究を行っており、知的財産とノウハウを分け、現在は他社にも特許の許諾を行っているが、既に所有している特許をさらに強固にするために周辺特許及びノウハウで固める必要があると考えている。

なお、現在、当該知的財産による人工染色体ベクター技術を用いた細胞改良受託事業を行っている。

知的財産の創出や活用に関する取組

もともと鳥取大学で研究されていた技術を元に起業を行った経緯があるが、徳島大学、大阪大学、九州大学、広島大学など多くの大学と共同研究を進めることにより、知的財産の創出を行っている。またその活用においては、①特許を抑えることで他社との差別化をはかること②新規参入企業の抑制と自社技術の保護③他社の特許と特許のバーターを行うことという観点で活用を行っている。

起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

特に共同研究の際には、「知らぬ間に他社の特許物を使用していることがないか」の確認は、使用していることが分かれれば、共同研究先に迷惑をかけることになるので、必ず行う必要がある。